

左京区長賞・京都保護観察所長賞

わたしのこと

京都市立大原小中学校九年 松坂 圭乃

わたしはほぼ4つの障害をもっています。なんでほぼとつけるのか。わたしはその障害のボーダーラインにいるからです。こんなこといわれてびっくりした人もいると思います。わたしはそう思われても仕方がないと思います。みんなと違いすぎるから。でも、どうしてもしんどいと思ってしまう私があります。わたしは、自分が障害者だとカミングアウトしてもうけいられる世の中にならなくてほしい。そうつくづく思っています。

先程わたしは4つの障害をもっているとカミングアウトしました。具体的に言うとADD・眼球運動障害・HSP・LD。LDが私の障害に入っているのかよくわからないものです。HSPは実は障害ではありません。そう話しても頭の中にはながたくさん浮かぶと思います。私のまわりの人私の家族もほとんど知りません。家族の中でわかる人といえば私の母くらいです。そんなもんだから、受けいれられにくいこともあります。私は、障害があつて苦労したことがたくさんあります。学校にいてもしんどい、家にもしてもしんどい。そんな私の話を少しします。一年生の算数の授業のことです。みなさんちがいの問題を覚えていますか。要はひき算をしるということなんです。まあこれにすごい苦労しました。私はちがいつて何のこと状態でした。そこに担任の先生の怒りまじりの「ちがいつてどうしたらいいんだっけ。」

というのをいわれたもんですから泣きまくりました。私はただちがいの意味を覚えてもらいたかっただけなんです。このとき泣いたことで担任にサイン、つまりSOSを出したのですが、悪いカタチでSOSを出す子もいます。たとえば、非行や犯罪などです。どうしてこの形でSOSを出すのかみなさん考えてみてください。もちろんその行動をしてしまった子供にも落ち度があります。でも、私はそこまでなるほど悩んだ子供に気がついてあげられなかったまわりの人にも落ち度があると思います。Z世代の子供たちは私も含め、自己肯定感が低い傾向にあります。

つまり、悩みやすい子供が多いということですが私のような発達障害の子供は、うまく伝えにくいのです。私は軽度発達障害者です。だいたいのことは話せますが非行・犯罪をするほど追いつめられたらどうすることもできない、どう話せばいいのかわからないと思います。だからまわりの人に気づいてほしいのです。

そこまで悩んでいる人は何かしらサインを出しています。あまり笑わなくなつた。無気力。あまり眠れていない。イライラすることが多く、イライラをすぐ出してしまふ。友達と過ごすことが少なくなってきた。など人それぞれ形はちがいますがSOSを出しているはずなんです。だからあなたに気づいてほしいと思つている人が確かにいるはず。こんなふうに、考えるともっと友だちなどのまわりの人にやさしくできるのではないかと思つています。気づいてあげること非行や犯罪の数ももっと減ると思つています。非行・犯罪をしてしまつたら、社会の居場所はずごく少なくなつてしまふ。だからこそ私たちがよりそうことで反省、そして反省したことをふまえて前にふみ出す一歩になると思つています。

今回私は、障碍者の立場として書きました。ですがこれは障害をもつていない人にとつても同じことがいえると思つています。なぜなら、しんどい・助けてほしいと思つて心は一緒だからです。

私は心から楽しいと思つているのなら、幸せだと思つているのなら非行・犯罪をしないと思つています。する必要もないですから。

これを読んでみるみなさんは周りの人のサインに気づいてあげられる人になつてほしいです。心が追いつめられるほどになる前に、サインに気づき寄りそつてあげられる。そうなつたら、悩んでいる子も多かれ少なかれ救われるはず。だから、まわりの人がしんどくならないような社会になれば非行や犯罪はぐんと減る。そのためには、あなたの協力が必要です。みんなでストレスフリーな社会をつくつていこうと思つています。